

令和5年度 愛知教育大学入学試験問題

標準的解答例または出題の意図及び評価の観点

【前期日程】

科目名：ものづくり・技術（総合問題）

<問1の出題の意図>

技術・家庭科技術分野では、道具を合理的に使用できるための仕組み理解を重視している。そこで、本出題では、製図や材料取りに関する知識を有していることを問う。

<評価の観点>

問1（1）キャビネット図の描き方について正確に理解しているかを見る。

問1（2）キャビネット図は、立体の正面を正確に表すのに適している知識を見る。等角図は、立体の全体の形を表すのに適している、という知識を見る。

問1（3）材料取りの描き方について、削りしろを残していることや、木目の向きを考慮して材料取りを行うこと等に関する知識を有しているかを見る。

<問2の出題の意図>

中学校 技術・家庭（技術分野）の「エネルギー変換（機械）」の内容に対応する。機械分野では、動力の伝達・変換が扱われているため、身近な機械に使われている、比較的近い部分への動力伝達機構について、使われている仕組みとそれが使われている部分を理解しているかを問う。あわせて、正確な論述、表現に関する能力をみる。

<評価の観点>

- ・近い距離への動力伝達機構と機械で使われている部分を挙げている。
- ・その機構の動作する仕組みを説明している。